

●職員手当の支給状況（企業会計職員除く）

（平成23年度決算）

手当名	支給者数	支給実績	1人当たりの平均支給年額
扶養手当	82人	19,384千円	236,393円
地域手当	165人	20,948千円	126,957円
住居手当	103人	7,957千円	77,257円
通勤手当	145人	7,910千円	54,550円
管理職手当	55人	37,046千円	673,562円
時間外勤務手当	110人	23,271千円	211,558円
期末・勤勉手当（年間3.95月分）	165人	237,474千円	1,439,235円

※支給者数は平成23年4月1日現在の人数です。 ※期末・勤勉手当は民間でのボーナスのことです。

●特別職の報酬などの状況

（平成24年4月1日現在）

区分	給料・報酬月額	期末手当 （23年度支給割合）	23年度総支給額
町長	828,000円(920,000円)	3.9月分	13,500,120円
副町長	706,800円(760,000円)	3.9月分	10,034,323円
教育長	669,750円(705,000円)	3.9月分	10,964,227円

●職員の任免および職員数に関する状況（平成23年4月1日から平成24年3月31日）

(1) 職員の競争試験の状況

一般行政職、作業療法士、幼稚園教諭の採用試験を実施しました。

(2) 職員の採用の状況

一般行政職の職員として、5人（男4人、女1人）を平成23年4月1日付で採用しました。

(3) 職員の退職の状況

（平成23年度中の退職者数）

退職自由	人数
定年退職	5人
勤奨退職	2人
普通退職	1人
合計	8人

(4) 行政職の特別職員数の状況

（平成23年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	12人	8.0%
2級	主事	7人	4.7%
3級	主査	42人	28.2%
4級	リーダー補佐・主任	35人	23.5%
5級	リーダー	34人	22.8%
6級	統括	15人	10.1%
7級	理事	4人	2.7%
計		149人	100%

※職員数の中に教育長、教育職給料表適用者（5人）、技能労務職給料表適用者（19人）は含みません。

●職員の勤務時間等の状況

(1) 勤務時間

職員の基本的な勤務時間

項目	内容
職員の勤務時間	8：30～17：15 （1日7時間45分、1週間当たり38時間45分）
休憩時間	12：00～13：00（60分）

※勤務場所により時間が異なります。

(2) 職員が取得できる休暇など

職員が取得できる休暇は、有給の年次有給休暇、療養休暇、特別休暇（結婚・出産・忌引など）と無給の介護休暇、育児休業などがあります。なお、平成23年度における年次有給休暇の取得状況については、次の通りです。

年度付与日数	最高20日
前年度からの繰越日数	最高20日
平均取得日数	11.6日



町の職員数や給与の状況をお知らせします

地方公務員法第58条の2の規定に基づき、前年度の地方公共団体の職員の任用、給与、勤務条件などの人事行政の運営状況について公表します。

これは、住民の皆さまに町職員の任免や勤務時間その他の勤務条件などの情報を正しく知っていただくために公表するものです。

▶問合せ 総務グループ ☎079（435）0357

●職員の給与の状況

●人件費の状況（普通会計決算）

（平成23年度）

住民基本台帳人口 （23年度末）	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 （B/A）	（参考） 22年度の人件費率
34,260人	9,194,824千円	542,111千円	1,566,197千円	17.0%	15.8%

（注）人件費には、特別職に支給される給料、報酬なども含まれます。

●職員給与費の状況（普通会計決算）

（平成23年度）

職員数A	給与費				1人当たりの給与費 （B/A）
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
152人	584,096千円	105,081千円	215,453千円	904,630千円	5,951千円

（注）1. 職員手当には退職手当を含みません。
2. 職員数は、平成23年4月1日現在の人数です。

●職員の平均給料月額と平均年齢の状況

（平成24年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	45.3歳	342,397円	411,152円
技能労務職	49.4歳	311,149円	349,167円

（注）一般行政職とは、技能労務職、企業職、教育職などを除いた職員です。
「平均給料月額」とは、職員の基本給の平均です。
「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当を合計したものです。

●一般行政職の初任給の状況

（平成24年4月1日現在）

区分	播磨町		国	
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料
大学卒	178,800円	190,300円	172,200円	184,200円
高校卒	149,800円	160,200円	140,100円	148,500円

●一般行政職の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

（平成24年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
大学卒	258,200円	295,500円	327,000円
高校卒	220,300円	265,700円	302,500円

（注）経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は採用後の年数をいい、採用前に民間経歴などがある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加算した年数をいいます。

住民意識アンケート調査結果報告

～町民プールの利用に関するアンケート調査について～

▶問合せ 生涯学習グループ ☎079 (435) 0565・企画グループ ☎079 (435) 0356



▲サマーフェスティバル in はまだ 無料開放日の様子

播磨町では、「住民参加のまちづくり」をより一層進めるため、皆さんからご意見や提言をいただく町政モニター事業を行っています。

今回は、老朽化が進み、営業を休止しています町民プールの今後のあり方について、検討する上で必要な資料を得るため、住民の皆さんの、町民プールに関する利用状況などについてのアンケート調査を実施しました。

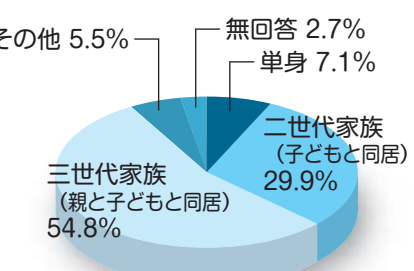
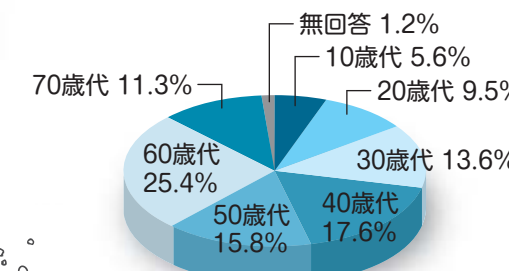
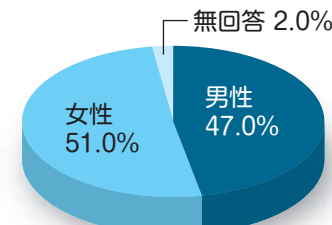
播磨町在住の16歳以上80歳未満の方の中から無作為に抽出した1,500人の方に送付し、602人の方から回答をいただきました。

ご協力ありがとうございました。アンケート調査の結果の集計ができましたので、調査結果をお知らせします。

《平成24年8月実施》

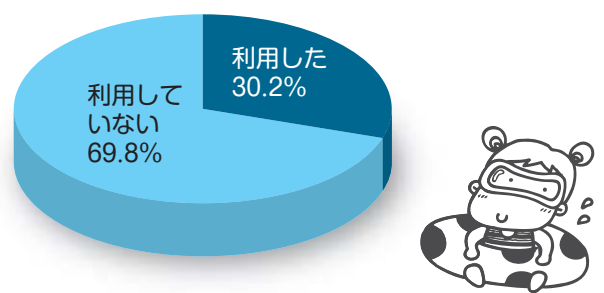
回答者の分布データ

性別	年齢	家族構成
ア 男性 47.0%	ア 10歳代 5.6%	ア 単身 7.1%
イ 女性 51.0%	イ 20歳代 9.5%	イ 二世世代家族 (子どもと同居) 29.9%
無回答 2.0%	ウ 30歳代 13.6%	ウ 三世世代家族 (親と子どもと同居) 54.8%
	エ 40歳代 17.6%	エ その他 5.5%
	オ 50歳代 15.8%	無回答 2.7%
	カ 60歳代 25.4%	
	キ 70歳代 11.3%	
	無回答 1.2%	



Q1 あなた、もしくはご家族は、昨年（平成23年）の夏（7～8月）に、プール（町民プール以外のプールも含む）を利用しましたか。

ア 利用した	30.2%
イ 利用していない	69.8%



全回答者の30.2%がプールを利用したと回答し、69.8%がプールを利用していないと回答しています。



職員の分限及び懲戒処分状況

項目	内容
分限処分	公務能率の維持を目的として、本人の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、免職、休職、降任、降給の4つの種類があります。 平成23年度は、心身の故障のため長期の療養を要するとして3件の休職処分を行いました。
懲戒処分	公務員としてふさわしくない非行があった場合に、公務員関係の秩序を維持するために職員の道義的責任を追及して行う処分のことをいい、免職、停職、減給、戒告の4つの種類があります。 平成23年度は、1件の停職処分を行いました。

職員の研修及び勤務成績の評価状況

(1) 職員研修

職員に対しては、事務能力の向上を目的とし、随時研修を実施しています。

ア 派遣研修	のべ参加人数74人	のべ参加日数232日
イ 内部研修	のべ参加人数401人	のべ実施日数9日

(2) 勤務成績の評価

職員が割り当てられた職務と責任を遂行した実績並びに執務に関連して見られた職員の性格、能力及び適正を公正に判断することを目的として勤務成績の評価を実施し、勤勉手当の支給に反映しています。

平成23年度の実施状況は次の通りです。

実施時期	対象者
平成23年10月（4月から9月までの状況）	全職員
平成24年4月（10月から3月までの状況）	全職員



職員の福利厚生と利益の保護の状況

●福利厚生制度

地方公務員法の規定により、地方公共団体は職員の福祉の増進を図るための共済制度や福利厚生制度を実施することが定められており、職員は下記の団体に加入しています。

加入制度	一般職員	用務員・調理員	幼稚園教諭
共済制度	兵庫県市町村職員共済組合	公立学校共済組合兵庫県支部	
互助会制度	兵庫県市町職員互助会		兵庫県学校厚生会

また、町の独自事業として、地方公務員法第42条の規定に基づき職員の保健、元気回復の施策として平成23年度では職員定期健康診断、置き薬の設置を行いました。



●公務災害関係（労働災害に相当するもの）

職員が、公務上、通勤途上の災害により、負傷などまたは死亡した場合は、地方公務員災害補償法に基づき、災害を受けた職員またはその遺族などに対する必要な補償などを町に代って地方公務員災害補償基金が行います。町の職員については、「地方公務員災害補償基金兵庫県支部」が事務を行っています。

平成23年度では、公務災害として認定された事案はありませんでした。

●利益の保護の状況

(1) 勤務条件に関する措置の要求の状況

職員は、給与、勤務時間その他の勤務条件に関し、公平委員会に対して、町の当局により適当な措置をとられるべきことを要求することができます。平成23年度では、措置要求はありませんでした。

(2) 不利益処分に関する不服申立の状況

職員は懲戒その他意に反する不利益な処分に関して、公平委員会に対して不服の申し立てをすることができます。

平成23年度では、不服申立はありませんでした。

町ホームページでも公開しています。

Q4

Q2で、「ア 町民プール」を選ばなかった方（プールは利用するが町民プールは利用しない方）、及び、Q3-3で、「イ 思わない」を選んだ方（今後は町民プールを利用したいと思わない方）にうかがいます。
町民プールを利用しない、または、今後は利用したいと思わない理由は何ですか。（複数選択可）

ア 町民プールがあるのを知らなかった	8.1%
イ 近隣にプールがあるから	19.8%
ウ ウォータースライダーなどの遊具がないから	48.8%
エ 交通の便が悪いから	3.5%
オ 設備が古いから	30.2%
カ その他（具体的に）	33.7%

「カ その他（具体的に）」の回答の一部は、下記の通りです。
・スイミングスクールやジムは設備がととのっているし、監視員なども充実している。現在は必要ないのではないか？
・年中使えないから

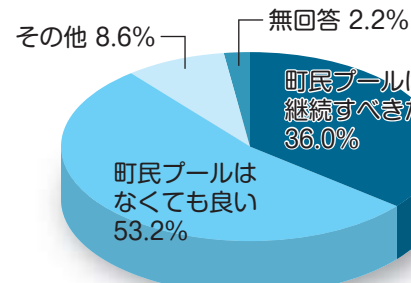
Q2で、「ア 町民プール」を選ばなかった方とQ3-3で、「イ 思わない」を選んだ方のその理由は、「ウ ウォータースライダーなどの遊具がないから」が48.8%と1番多くなっており、次いで「オ 設備が古いから」が30.2%となっています。

Q5

全員の方にうかがいます。町民プールの運営には、毎年約700万円の費用がかかっています。さらに、施設の老朽化により、施設の改修や更新にかかる費用の増加が避けられない状況です。このような課題を抱える町民プールに対し、あなたの考えに近いものを選んでください。

ア 町民プールは継続すべきだ	36.0%
イ 町民プールはなくても良い	53.2%
ウ その他（具体的に）	8.6%

無回答 2.2%



「イ 町民プールはなくても良い」が53.2%を占めています。

「ウ その他（具体的に）」の回答の一部は、下記の通りです。

- ・小中学校にプールがあり、近くに海もあるから
- ・黒字になるのであれば継続すべき
- ・民間に任せてみる
- ・他に削るところが必ずあるはず。地震や津波の対策はどうなっているのでしょうか
- ・継続の可否は別にして手を付けずにしばらくおいておく（景気回復などが見込めるまで）
- ・家から近いところにあるので子どものころによく親に連れて行ってもらいました
- ・子どもが小さい時はよく利用しました、今子どもがいる家庭はどうでしょうか
- ・少々利用料が高くなっても、休憩所など設備を整えるほうが良いと思う
- ・総合体育館の周りにすべての施設を作る。スポーツを通じて明るく元気なまちづくりをお願いします
- ・町の施設として2ヶ所プールがあるので利用する対象を子ども向け、大人向けに分けたらどうでしょうか
- ・どちらともいえない 安全であるべきだし改修などに費用がかかるなら・・・
- ・収入がいくらあるかによる
- ・赤字になるようなら廃止したほうが良い
- ・利用料を上げて一般業者に委託しては
- ・子どもがいる家庭には必要。学校のプールを開放することはできないのでしょうか？
- ・運営費のことを考えると大変だけど無くなるのは寂しいです
- ・オープン時からの利用状況の推移により判断されてはどうでしょうか
- ・夏だけでなくいつでも泳げたらいいと思います
- ・遊具はなくてもいいですが、もし設置するなら簡単な噴水でかまわないです
- ・経費がペイできないなら運営する必要はない
- ・料金が上がったり、改修工事に高額な費用がかかるなら閉鎖もやむをえない
- ・大人が泳ぐ為の専用コースでもあれば行くことも考える
- ・継続してほしいが、運営費用がかなり高いので仕方ない
- ・きれいになって、料金が500円ぐらいなら値上がっても利用者は増えると思います
- ・プールを不要とするなら700万円の予算はどこに使うか記載すべき
- ・継続できるなら利用したい
- ・毎年たくさんの費用がかかるなら寂しいですが、なくてもいいと思います
- ・子どもが小さい頃は毎日のように行ってきましたが、このごろの様子が分からないのでどちらともいえない
- ・個人的にはなくてもいいですが、子どもたちのことを考えると町民プールはやはり必要なと思う

Q2

Q1で「ア 利用した」を選んだ方にうかがいます。あなた、もしくはご家族は、主にどのようなプールを利用しましたか。（複数選択可）

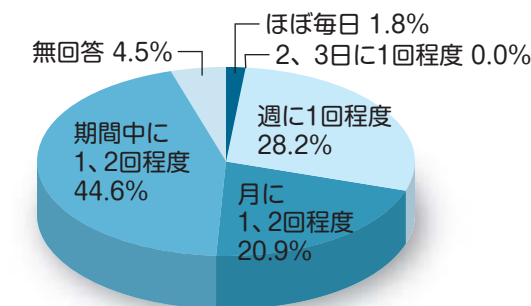
ア 町民プール	60.4%	オ 学校開放プール	19.2%
イ 近隣の屋外プール	50.0%	カ スイミングスクール・スポーツジム	24.2%
ウ 大型レジャープール	32.4%	キ その他	3.9%
エ 温水プール	14.3%		

Q1でプールを利用したと回答した方の60.4%が町民プールを利用しています。

Q3-1

Q2で、「ア 町民プール」を選んだ方にうかがいます。町民プールをどのくらいの頻度で利用しましたか。

ア ほぼ毎日	1.8%
イ 2、3日に1回程度	0.0%
ウ 週に1回程度	28.2%
エ 月に1、2回程度	20.9%
オ 期間中に1、2回程度	44.6%
無回答	4.5%



町民プールの利用は、「オ 期間中に1、2回程度」が44.6%と一番多くの割合を占めています。

Q3-2

町民プールを利用する理由は何ですか。（複数選択可）

ア 近所だから	92.7%	ウ その他（具体的に）	13.6%
イ 料金が安いから	84.6%		

「ウ その他（具体的に）」の回答の一部は、下記の通りです。

- ・子どもが水泳教室に通っている
- ・レジャープールと違い、泳ぐ練習をするにはもってこいだから
- ・町民プールは、水がきれいであり混雑していない
- ・町民プールは、親が中へ入らなくても子どもをしっかりみることができると
- ・町民プールは子どもを監視しやすい。ビート板他貸し出しの数も豊富で泳ぎの練習もできた
- ・50mプールが競泳用と遊びのレーンが分かれていないから
- ・スライダーなどの遊具がないので、小さい子どものいる家庭にはちょうどいいプールだと思います
- ・プール教室



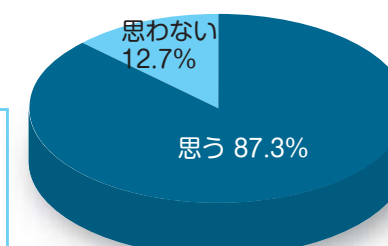
▲スポーツクラブ21はりま主催 シュノーケリング教室

町民プールを利用する理由としては、「ア 近所だから」が92.7%、「イ 料金が安いから」が84.6%となっています。

Q3-3

今後も町民プールを利用したいと思えますか。

ア 思う	87.3%
イ 思わない	12.7%



Q2で、「ア 町民プール」を選んだ方で「今後も利用したいと思っている」が87.3%と多くを占めています。



▲サマーフェスティバルのイベントで、水球競技のデモンストレーション後、子どもたちと交流する兵庫県高校選抜の選手

